

【テーマ】

1-活動資金確保のための取組
(2) 特産品等の販路開拓、拡大

【採択年度】

R3 年度

多良木町 槻木みつまた

過疎化が進行している槻木地区では、和紙づくりや「三桠（みつまた）」の特性を活かした新たな産業起こしに取り組み、若者の呼び込みを試みています。

地域の課題と活動をはじめた動機

槻木地区では、過疎化の進行や主要産業である林業の低迷が課題です。

そこで、新たな産業として可能性がある地域資源の三桠の木に着目し、和紙の原料である三桠の枝を「ホワイトインテリア」として活用する取組みを考えました。

活動（事業）内容

- 皮を剥いだ枝（ホワイトインテリア）を花材として活用し、ふるさと納税の返礼品としての出品やオンラインショップでの販売を行いました。
- 学生団体との交流会を行い、共同で三桠の植林活動を行いました。
- 鹿の食害がないことから、関連企業と忌避剤としての活用を検討しました。

成果

- ふるさと納税の勉強会参加者や三桠を手にとった方から「槻木の三桠はボリュームがあって質が良い」など、高い評価をいただきました。
- 全国各地で、のべ 800 名以上の方に「ホワイトインテリア」として楽しんでいただいています。

現在の活動と今後の展望

- 「ホワイトインテリア」の販売収入は、増加傾向ですが、生業として生計できるまでには至っていません。
- 今後は、生業としての確立を目指すとともに、文化を継続するために後継者の確保にも力を入れていきたいと考えています。

連携団体

- 学生団体（愛知県、兵庫県、東京都、茨城県の学生）
- 一般社団法人たらぎ財団
- 民間の人材派遣会社

情報発信媒体

TSUKIGI みつまた HP: <https://tsukigi-mitsumata.com/>
https://www.instagram.com/tsukigi_mitsumata/

槻木集落メディア HP: <https://kumamoto-tsukigi.com/>
https://www.instagram.com/tsukigi_syuraku/



槻木の風景



三桠の写真



三桠の群生



連携団体との活動

【地域の概要】多良木町槻木地区（人口）86人（世帯数）54世帯【住民基本台帳 2023.12 現在】
【組織の概要】槻木みつまた 会長：椎葉 袈史 会員数：6名 活動拠点：会長宅

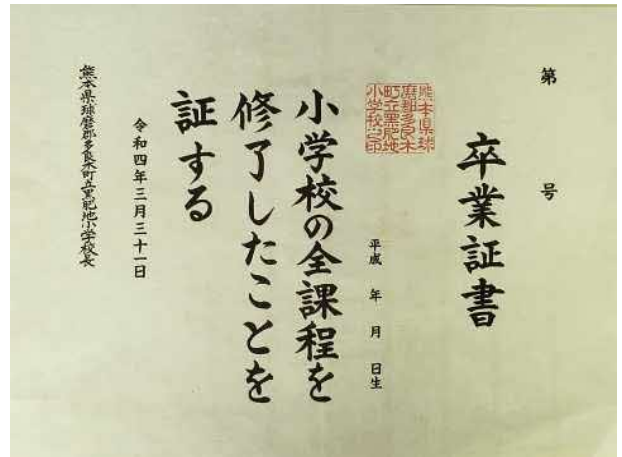
事業企画・展開のポイント

地域の産業として定着させたい

過疎化が進行している槻木地区では、主要産業の林業も低迷しています。しかし、田舎や地域活性化に興味がある若者たちを呼び込むためにも「ホワイトインテリア」を産業として、確立・定着していきたいと思ひます。



ホワイトインテリアの活用事例



多良木町の卒業証書

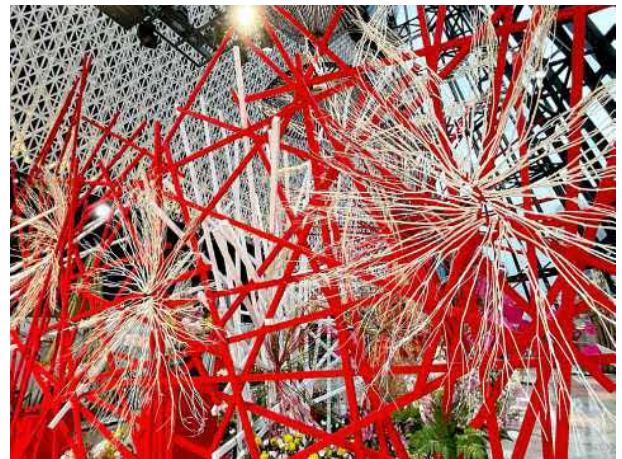
組織運営のポイント

外部からの力を借りる

地域の方の理解を得て広げていくには、一定の収益がないと継続できないため、学生や企業など外部の力をお借りしながら産業として起こすことだと考えています。



学生との植林活動



華道家 假屋崎省吾さんの個展で使用

他の団体と連携ポイント

ふるさと納税サイトなどの活用

ふるさと納税サイトの活用やオンラインショップ、SNSの立ち上げなどの情報発信に取り組んでいます。三極の「ホワイトインテリア」を全国に広められるように活動していきたいと思ひます。



ふるさと納税の返礼品として出品



槻木みつまたのホームページ